

観光振興委員会 活動報告

令和7年5月



観光振興委員会

目次

1. インバウンド市場の動向と訪日旅行トレンド
2. ファムツアーについて

1. インバウンド市場の動向と訪日旅行トレンド

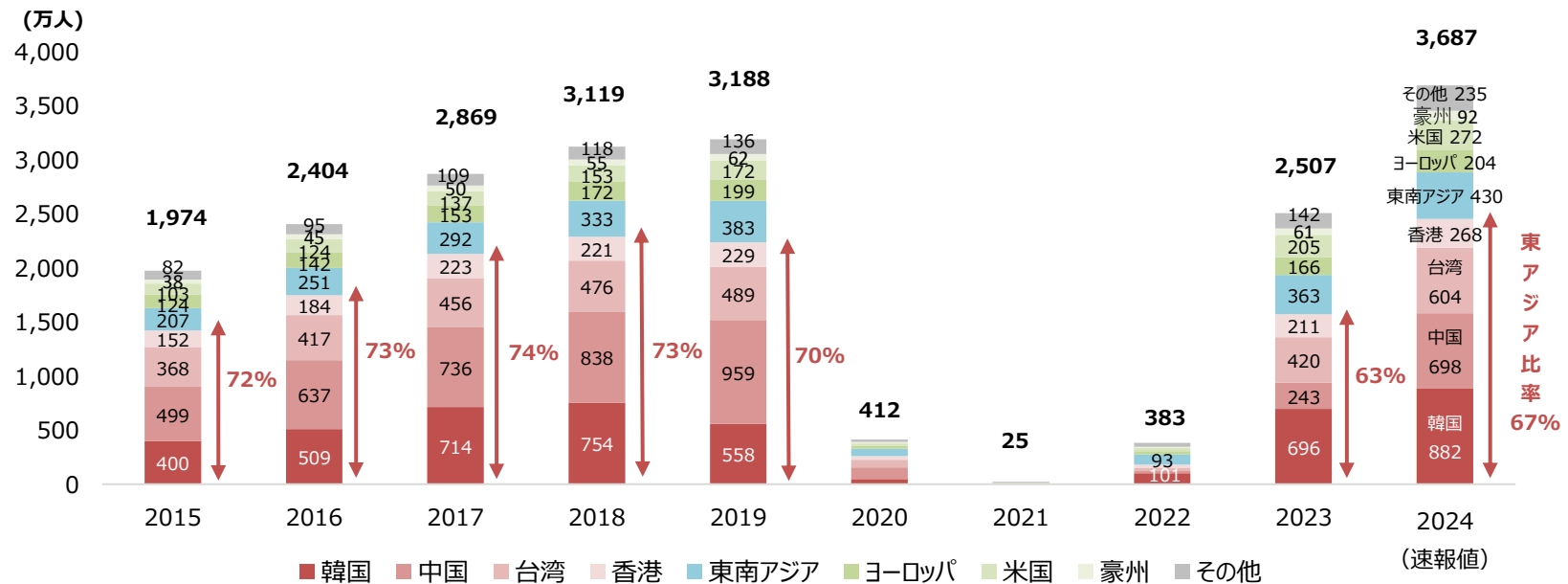
訪日外客数

訪日外客数は、ビザ発行要件緩和や円安基調などを背景に東アジア4地域を中心に右肩上がりに増加を続け、2018年に3,000万人を突破した。2019年は、日韓関係悪化により、韓国の訪日外客数が減少したものの、ラグビーワールドカップや瀬戸内国際芸術祭といったインバウンドの呼び水となるイベント開催により他地域の訪日外客数が増加し、3,188万人となった。

2020年3月以降はコロナ禍により激減したが、2023年4月の水際措置撤廃後に急回復した。2024年は3月～7月にかけて**5ヵ月連続で単月300万人超え**が続き、年間では2019年の水準を上回り初めて**3,600万人超**を記録した。

2024年の国・地域別でも、中国以外の各国・地域で**2019年の水準を超え過去最高**となった。中国は2019年の水準には達していないものの、2024年4月以降は連続で単月50万人以上まで回復し、2023年の3倍弱（243万人→698万人）に急増している。

推移（2015～2024年）



備考：東南アジア：タイ・シンガポール・マレーシア・インドネシア・フィリピン・ベトナム

ヨーロッパ：英国・フランス・ドイツ・イタリア・ロシア・スペイン・スウェーデン・オランダ・スイス・ベルギー・フィンランド・ポーランド・デンマーク・ノルウェー・オーストリア・ポルトガル・アイルランド（2016以降はその他ヨーロッパ含む）

（出典）（株）日本政策投資銀行【関西・中国・四国統合版】DBJ・JTBFアジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査2024年度版



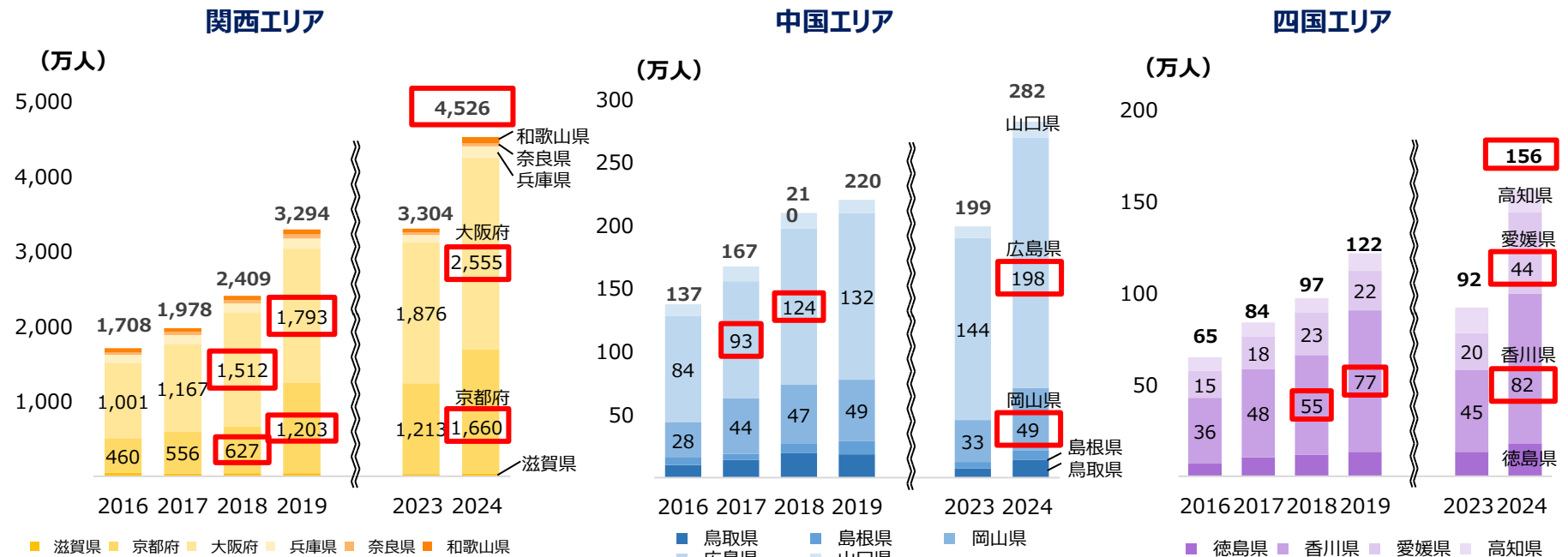
宿泊者数

関西・中四国エリアのインバウンド延べ宿泊者数は、全国的な訪日外客数の増加を背景に各エリアで増加。コロナ後、早期に回復した関西エリアに続き、2024年には中国エリア、**四国エリアも堅調に回復し2019年を上回った。**

関西エリアは、2019年にかけて、関西空港におけるアジア就航路線の増便、ラグビーワールドカップ開催などにより京都・大阪を中心にインバウンド宿泊者も大幅に増加。2024年は、京都・大阪の2府がけん引し、2019年および2023年を大きく上回る水準に回復した。

中国エリアは、2019年にかけて、旅行口コミサイトでの人気向上やアジア直行便の就航増などにより広島を中心に宿泊者が増加。2024年は、広島空港、岡山空港の国際線の再開や増便に加え、新規路線就航（ハノイ、高雄）もあり、大きく増加した。

四国エリアは、2019年にかけて、アジア直行便の就航増や瀬戸内国際芸術祭開催（2016、2019）などによる知名度向上を受けて、香川を中心に宿泊者が増加。2024年は四国の各空港の国際線の再開、増便、新規路線就航などを主因として過去最高を記録した。

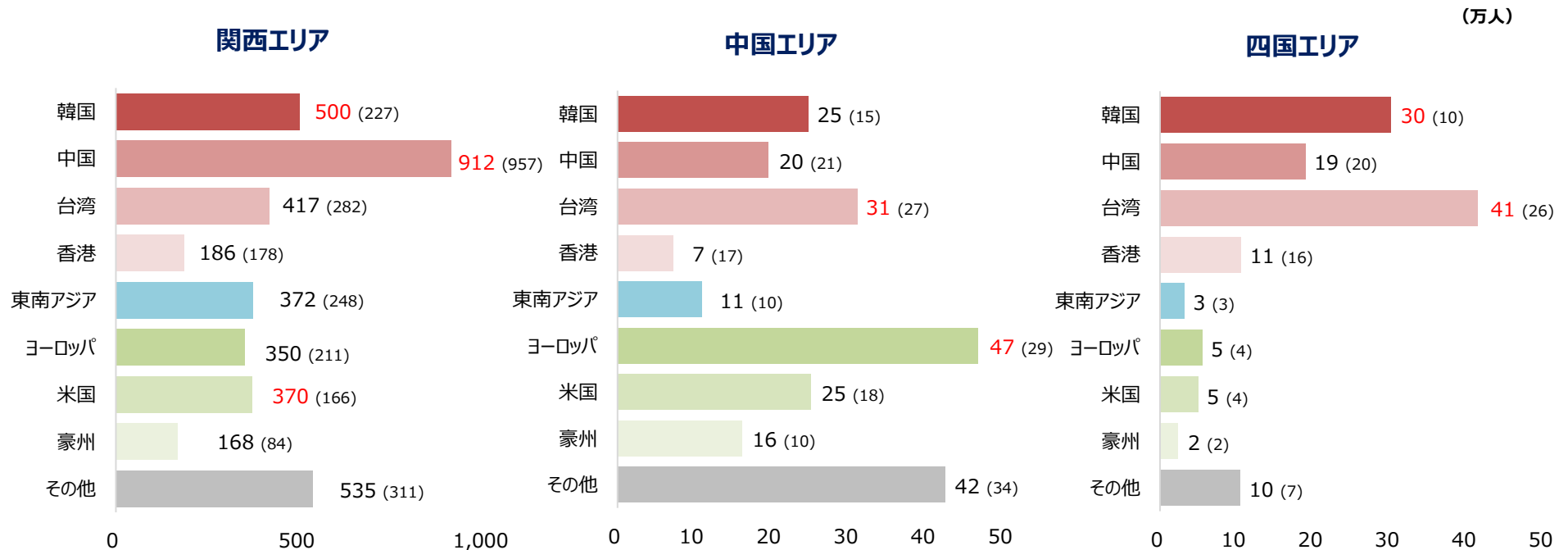


国・地域別の宿泊者数

2024年のインバウンドの国・地域別の延べ宿泊者数をエリア別にみると、関西エリアでは中国が912万人と最も多く、2019年に迫る水準まで回復した。中国以外の国・地域は全てコロナ前の2019年を上回り、特に米国、韓国は大きく伸びた。

中国エリアではヨーロッパが47万人と最も多く、次いで台湾が31万人となっている。東南アジア、ヨーロッパ、米国、豪州は過去最高値を記録し、中国も2019年とほぼ同水準まで回復する一方、香港は2019年比4割と停滞している。

四国エリアでは台湾が41万人と最も多く、続いて韓国が30万人、中国が19万人となっている。台湾、韓国は直行便の増加に伴い、それぞれ2019年比1.6倍、3倍に拡大した。中国は、関西・中国エリア同様に2019年とほぼ同水準まで回復している。



備考1：2024年集計値、() は2019年集計値

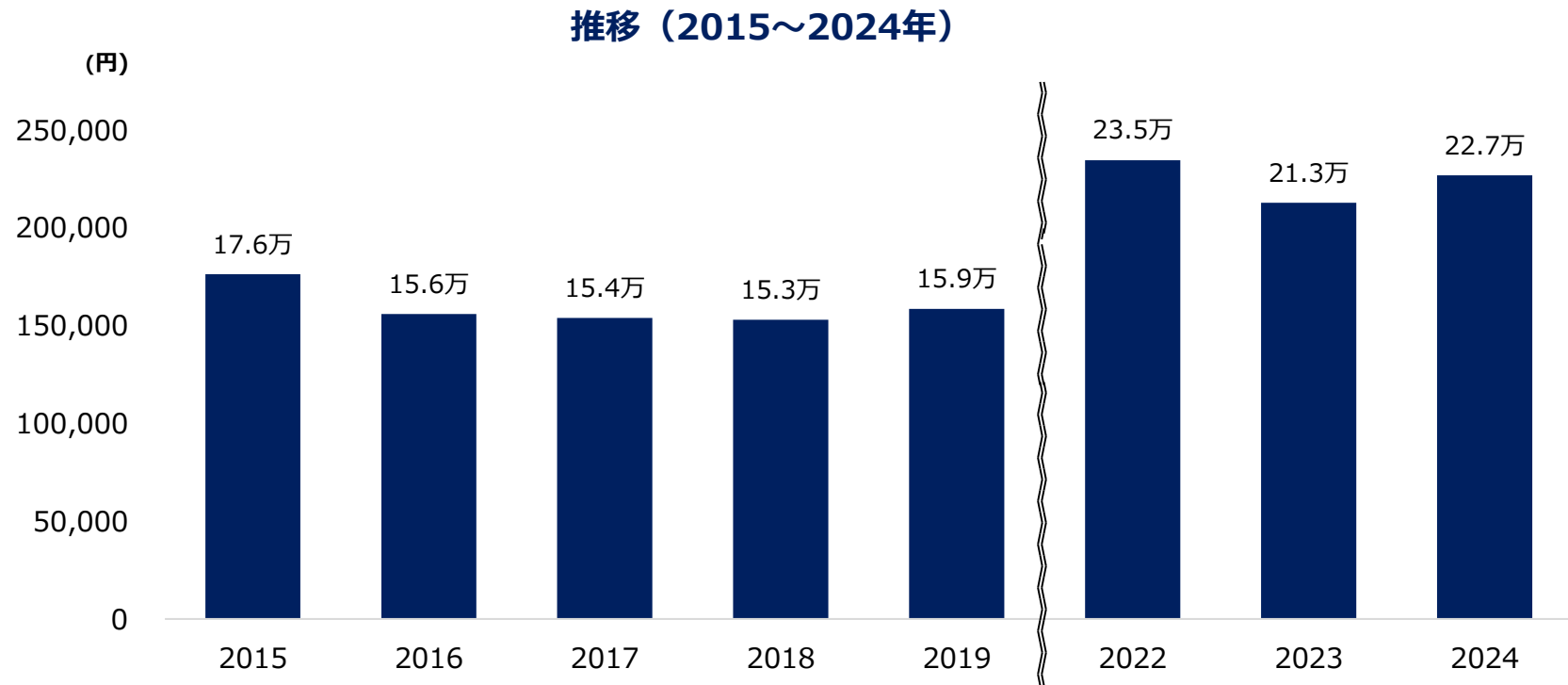
備考2：東南アジア：タイ・シンガポール・マレーシア・インドネシア・フィリピン・ベトナム／ヨーロッパ：イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ロシア・スペイン／その他：インド・カナダ・その他

消費額単価

コロナ前の2015～2019年はインバウンド数が右肩上がりであったのに対し、消費額単価は概ね横ばいで推移していた。

一方、2022年はコロナ禍における海外旅行など行動規制の反動による「リベンジ消費」や「旅行日数の長期化」、「円安」なども影響して約8万円増加した。

その後、2023年・2024年も「旅行日数の長期化」「円安」に加えて、「物価上昇」などの影響を受けて、コロナ前と比較し増加している。



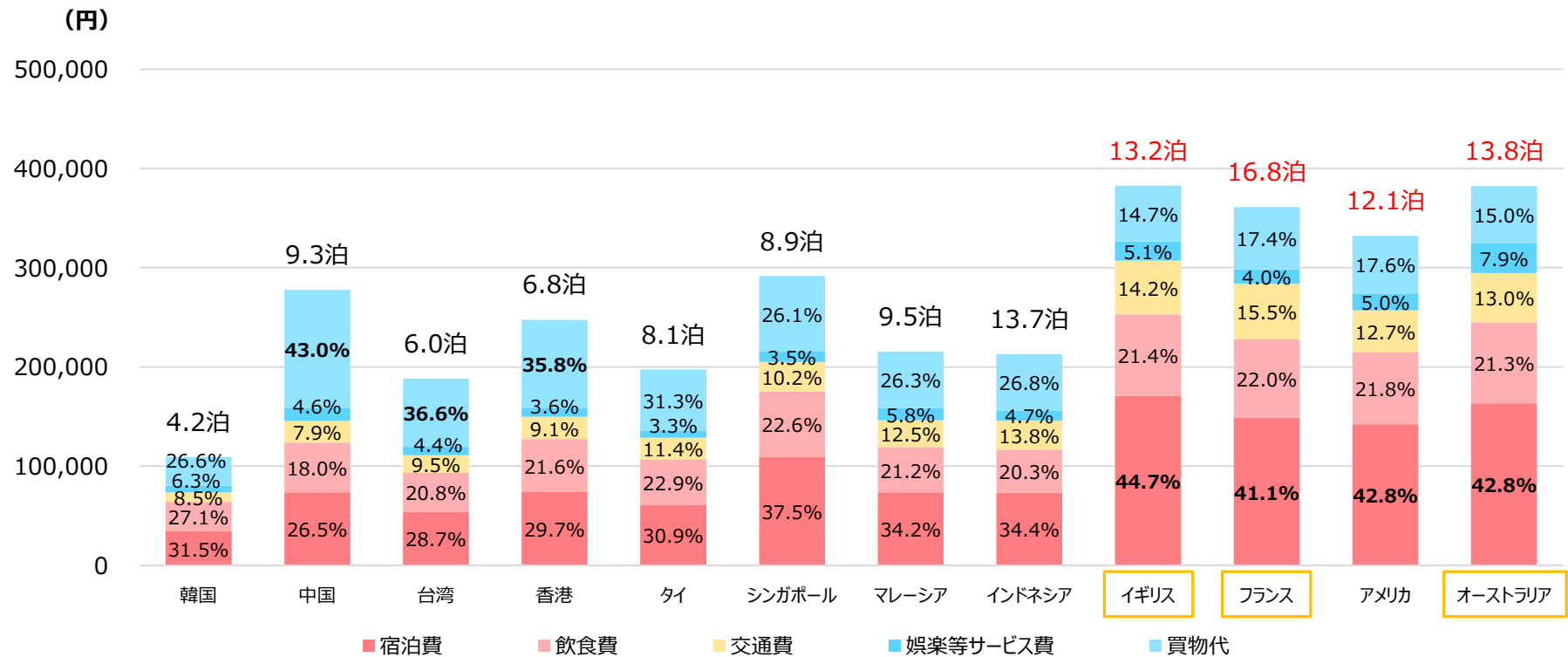
備考：2024年は全国の速報値

国・地域別の消費単価

2024年の消費額単価上位は「イギリス」「オーストラリア」「フランス」となっている。欧米豪は総じて高い傾向にあり、「宿泊単価」が高いことに加えて、滞在日数の長さが影響していると考えられる。

項目別では、**宿泊費比率が高いのも「欧米豪」**であり、**交通費比率もアジアに比べて欧米豪がやや高いことから、滞在日数が長く、滞在中の移動範囲が広い**と考えられる。

飲食費・娯楽サービスの比率はどの国・地域も同程度で、**買い物の比率が高いのは「中国」「台湾」「香港」**であった。



備考1：2024年は全国の速報値

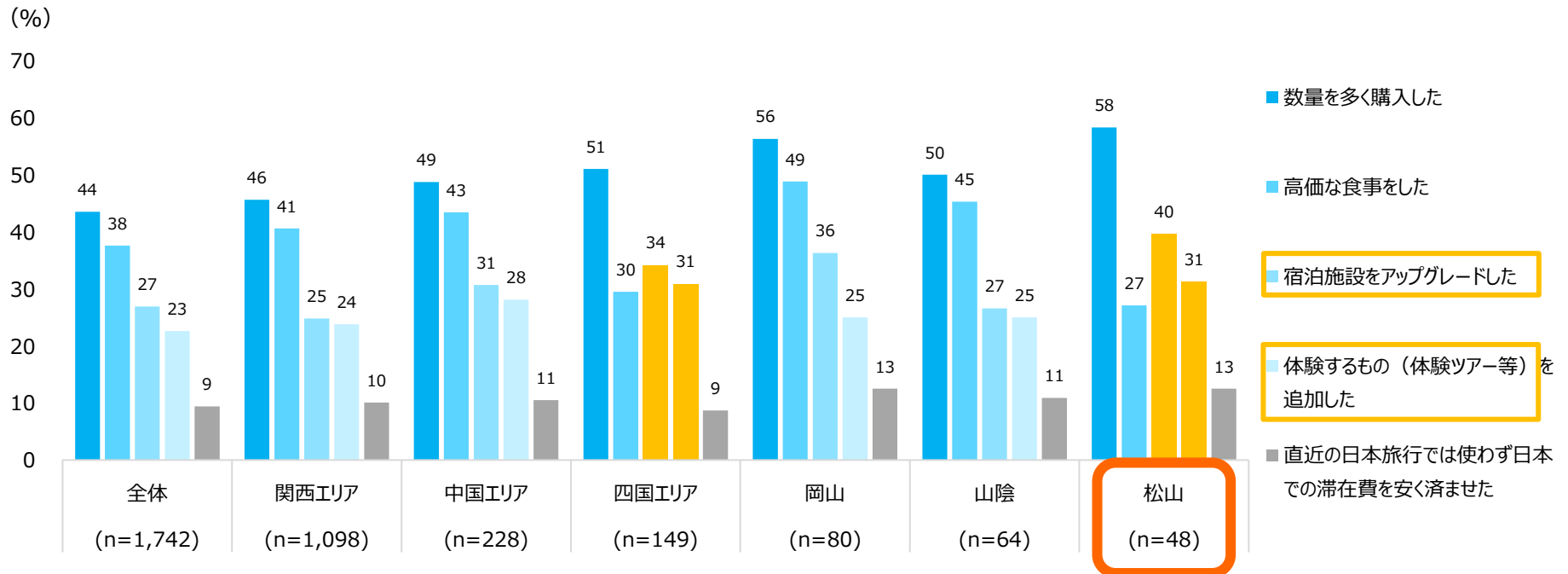
備考2：棒グラフ上部の数値は平均宿泊数

円安の影響

訪日旅行時に円安で得をした分で追加消費をした人の割合は全体の約9割であり、追加消費の対象として、全体・関西・中国（岡山・山陰含む）では、「数量を多く購入した」「高価な食事をした」「宿泊施設をアップグレードした」が順に多い。

四国・松山においては、「数量を多く購入した」が共通して最も多い一方、2位・3位には「宿泊施設をアップグレードした」「体験（ツアーなど）を追加した」が多くなっており、他地域と消費対象の違いが伺えた。

【訪日経験者＆円安実感者】 訪日旅行において、円安で得をした分のお金の使い道（複数回答）



備考：n 値：各地域訪問経験者かつ円安実感者（複数回答）

体験したいこと

- ・ インバウンドの体験したいことは、アジア・欧米豪ともに1位は「自然や風景の見物」で、「桜の鑑賞」は半数以上が回答し上位となっている。
- ・ アジアは、関西・中四国エリアのいずれの地域でも「伝統的日本料理」が全国平均よりも高い5割超となっており、「食」は訴求力が高い地域観光資源と推察される。また、関西・中国エリアでは「温泉入浴」も人気がある体験となっている。
- ・ 一方、欧米豪は関西エリアを除き、「食」以上に、地域の自然鑑賞や庭園・史跡の見学などに関心が集まっている。

<参考情報>

アジア

(%)

	全体 (n=3,264)	関西 (n=1,933)	中国 (n=554)	四国 (n=358)		岡山 (n=176)	山陰 (n=152)	松山 (n=118)
1	自然や風景の見物 58.0	自然や風景の見物 62.2	自然や風景の見物 70.6	自然や風景の見物 62.0	1	自然や風景の見物 71.0	自然や風景の見物 63.8	自然や風景の見物 66.1
2	桜の観賞 50.5	伝統的日本料理 54.6	桜の観賞 59.2	桜の観賞 54.7	2	伝統的日本料理 60.2	伝統的日本料理 61.2	イベント・祭りの見物、 伝統的日本料理 (同率) 57.6
3	伝統的日本料理 44.7	桜の観賞 54.4	伝統的日本料理 58.3	有名な史跡や歴史的な建築物の見物※ 52.5	3	イベント・祭りの見物 59.1	温泉への入浴 59.9	紅葉の観賞 56.8
4	温泉への入浴 42.7	温泉への入浴 50.0	雪景色観賞 55.8	伝統的日本料理 52.2	4	桜の観賞、 有名な史跡や歴史的な建築物の見物※ 55.1	雪景色観賞 58.6	桜の観賞 55.9
5	雪景色観賞 42.1	雪景色観賞 45.5	温泉への入浴 54.5	雪景色観賞 49.2	5	温泉への入浴、 (同率)	桜の観賞 55.9	桜の観賞 55.9

欧米豪

(%)

	全体 (n=1,015)	関西 (n=459)	中国 (n=210)	四国 (n=56)		岡山 (n=26)	山陰 (n=17)	松山 (n=6)
1	自然や風景の見物 58.1	自然や風景の見物 67.3	自然や風景の見物 71.0	自然や風景の見物 57.1	1	自然や風景の見物 57.7	紅葉の観賞 58.8	桜の観賞 66.7
2	日本庭園の見物※ 56.0	日本庭園の見物※ 65.8	日本庭園の見物※ 67.1	日本庭園の見物※ 55.4	2	桜の観賞 50.0	世界遺産の見物 47.1	自然や風景の見物、 日本庭園の見物※、 ドラマや映画のロケ 地・アニメの舞台の見 物、 世界遺産の見物、 スポーツ観戦、 他 (同率) 50.0
3	桜の観賞 53.9	桜の観賞 63.6	桜の観賞 64.3	世界遺産の見物 50.0	3	日本庭園の見物※、 イベント・祭りの見物、 日本文化の体験 (茶道、華道、着物 試着など) (同率)	自然や風景の見物、 桜の観賞、 伝統工芸品の工房 見学・体験、 イベント・祭りの見物、 伝統的日本料理 (同率)	41.2
4	有名な史跡や歴史的な建築物の見物※ 51.6	伝統的日本料理 61.0	有名な史跡や歴史的な建築物の見物※ 61.4	桜の観賞 48.2	4			
5	伝統的日本料理 48.0	有名な史跡や歴史的な建築物の見物※ 59.9	世界遺産の見物 60.5	伝統工芸品の工房見学・体験 44.6	5			

備考1：n値：訪日旅行希望者（複数回答）

備考2：訪日旅行で体験したいことのうち上位5項目。同順位は5つまで記載。※の「有名な史跡や歴史的な建築物の見物」および「日本庭園の見物」は説明の充実度も含む項目

(出典) (株)日本政策投資銀行【関西・中国・四国統合版】DBJ・JTBFアジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査2024年度版



観光政策の動向

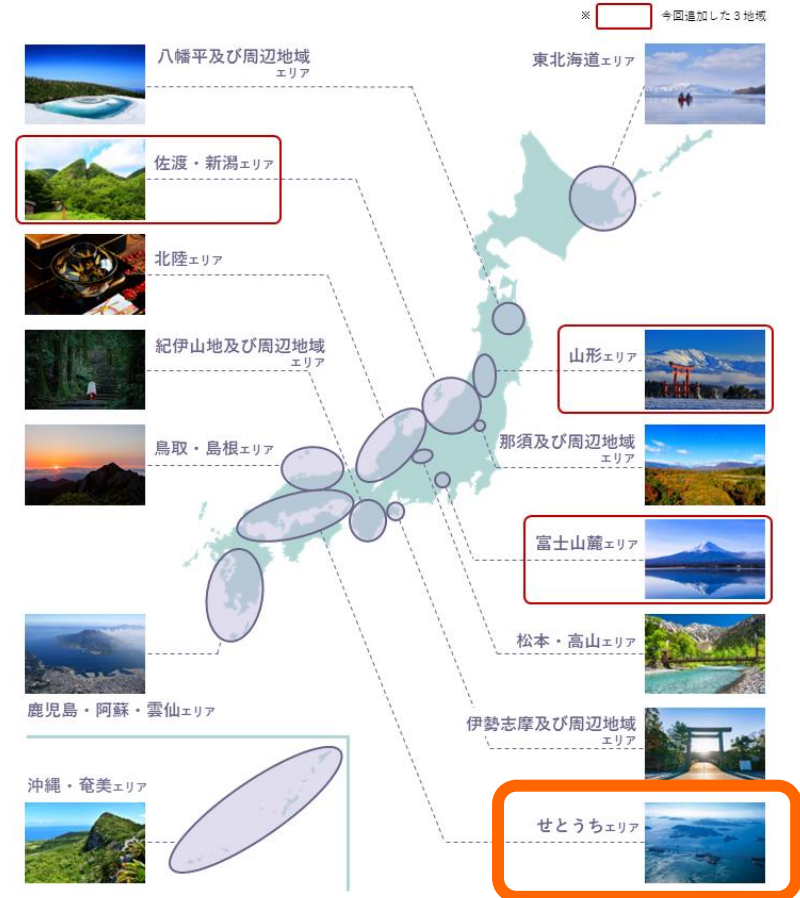
■ 高付加価値旅行者の誘客に向けたモデル観光地14地域

- 観光庁では、「消費額増加」「地方誘客」をより重視する観点から、消費単価が高い傾向にある**高付加価値旅行者の地方誘客を促進**。
- 2022年8月19日付で「**地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル観光地**」の公募を行い、総合的な施策を集中的に講じるモデル観光地を11地域選定した。
- さらに2024年9月には、山形エリア、佐渡・新潟エリア、富士山麓エリアを追加選定し、全国のモデル観光地は**14地域**となった。

【選定地域】

1. 東北海道エリア
2. 八幡平エリア及び周辺地域エリア
3. 山形エリア
4. 那須および周辺地域エリア
5. 佐渡・新潟エリア
6. 北陸エリア
7. 富士山麓エリア
8. 松本・高山エリア
9. 伊勢志摩及び周辺地域エリア
10. 紀伊山地及び周辺地域エリア
11. **せとうちエリア**
12. 鳥取・島根エリア
13. 鹿児島・阿蘇・雲仙エリア
14. 沖縄・奄美エリア

地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり モデル観光地 14地域



2. ファムツアーについて

ファムツアーについて

- 観光振興委員会では、「知っているようで知らない、四国の魅力を再発見する」体験型の活動として、令和4年以降、5回のファムツアーを実施。
- 「愛媛のインフルエンサー」である同友会メンバーを招待し、魅力の拡散を図るほか、FM愛媛のパーソナリティが同行して取材。後日、生ワイド番組での放送を通じて、同友会活動をPR。

これまでのファムツアー

- ① 岩屋寺・古岩屋お遍路体験ファムツアー （令和4年12月1日）
- ② 八幡浜の街散策、市長ご講演、新フェリーターミナル見学 （令和5年3月13日）
- ③ 石鎚山・成就社ウォーキングツアー （令和5年7月20日）
- ④ しまなみ海道 魅力体験ファムツアー （令和6年7月24日）
- ⑤ 宇和島の歴史文化に触れる 伊達博物館ファムツアー （令和6年11月20日）



① 岩屋寺・古岩屋お遍路体験ファムツアー

- 実際に白衣、輪袈裟を付けて、大先達さんと一緒に45番札所「岩屋寺」でお遍路を体験。
- 遍照閣の特別参拝を実施したほか、2000万年前の大岩壁を観る、古岩屋不動尊ミニ遍路ウォークを実施。
- 外国人留学生、技術研修生も同行、体験した感想をアンケートにて回答してもらった。



① 岩屋寺・古岩屋お遍路体験ファムツアー



① 岩屋寺・古岩屋お遍路体験ファムツアー



① 岩屋寺・古岩屋お遍路体験ファミツアー



① 岩屋寺・古岩屋お遍路体験ファミツアー



① 岩屋寺・古岩屋お遍路体験ファムツアー



② 八幡浜の街散策、市長ご講演、新フェリーターミナル見学

- 「八幡浜みてみん會」の協力で街を散策し、その後、四国と九州との新しい玄関口としてオープンした新フェリーターミナルへ。
- フェリーターミナルは、アニメ映画「すずめの戸締り」の舞台としても知られている。
- 大城 八幡浜市長のご講演、施設見学。大城市長を囲んでの意見交換も行った。



② 八幡浜の街散策、市長ご講演、新フェリーターミナル見学



② 八幡浜の街散策、市長ご講演、新フェリーターミナル見学



② 八幡浜の街散策、市長ご講演、新フェリーターミナル見学



② 八幡浜の街散策、市長ご講演、新フェリーターミナル見学



② 八幡浜の街散策、市長ご講演、新フェリーターミナル見学



③ 石鎚山・成就社ウォーキングツアー

- 石鎚神社禰宜の曾我部英司先生のご案内で、石鎚山の自然や石鎚神社など、普段聞けないお話をいただいた。
- 中宮成就社では、全国の中で唯一石鎚神社のみで行われる、特殊神事の「御神像拝戴」を体験。
- 高齢者や遠距離への移動が困難な方を想定し、アバターロボットを利用し、松山市の高齢者住宅と結ぶ実証プロジェクトも。



③ 石鎚山・成就社ウォーキングツアー



③ 石鎚山・成就社ウォーキングツアー



③ 石鎚山・成就社ウォーキングツアー



③ 石鎚山・成就社ウォーキングツアー

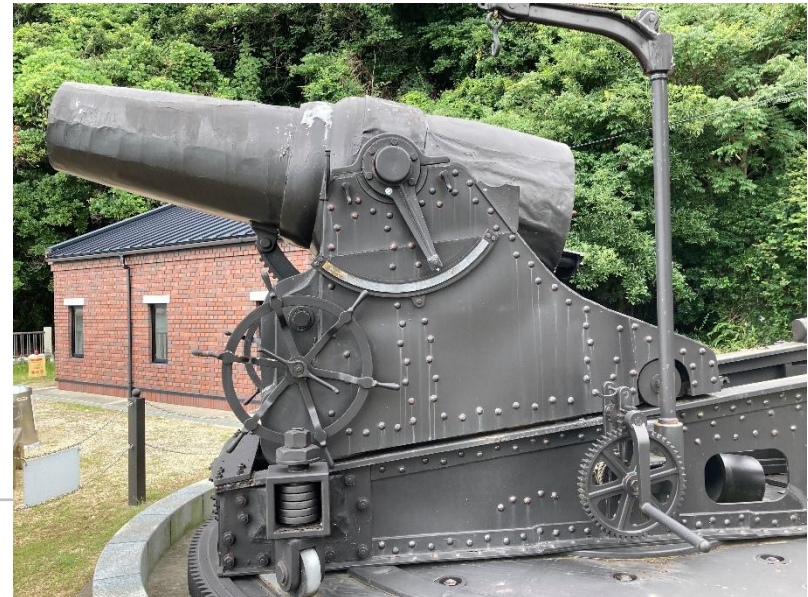


④ しまなみ海道 魅力体験ファムツアー

- しまなみ海道の魅力的な観光コンテンツを体験。
- 来島海峡大橋の塔頂体験、観潮船での急流体験、芸予要塞史跡巡り、しまなみサイクリングを1日で。
- 昼食には、来島の新鮮な海鮮バーベキューを楽しみ、亀老山展望台を経て、夕刻には松山に帰着。



④ しまなみ海道 魅力体験ファムツアー



④ しまなみ海道 魅力体験ファムツアー



④ しまなみ海道 魅力体験ファムツアー



④ しまなみ海道 魅力体験ファムツアー



⑤ 宇和島の歴史文化に触れる 伊達博物館ファムツアー

- 伊達博物館の収蔵品や、開館50周年記念特別展を学芸の解説により見学。
- 宇和島市の職員の方々より、新伊達博物館の概要や周辺整備、今後の宇和島市の観光について講演、議論
- 懇親会では第13代伊達家ご当主にも参加頂き、宇和海の海の幸や郷土料理を楽しんだ。



⑤ 宇和島の歴史文化に触れる 伊達博物館ファムツアー



⑤ 宇和島の歴史文化に触れる 伊達博物館ファムツアー



⑤ 宇和島の歴史文化に触れる 伊達博物館ファムツアー



⑤ 宇和島の歴史文化に触れる 伊達博物館ファムツアー

